令和2年度 第5回あま市人権施策推進審議会議事録要旨

令和2年12月23日(水) 午後2時から午後3時まで あま市美和総合福祉センターすみれの里 2階集会室

1 出席者等

出席者等 (委員) 9名

(事務局) 7名

(傍聴者) 0名

2 部長あいさつ要旨

本日は寒い中、年末大変お忙しい中、また新型コロナウイルス感染症第3波という状況の中で、皆さんにお集まりいただき、大変ありがたく思っている。感染防止対策を講じての開催ということで、御理解いただきたい。日頃から市政の推進並びに市の人権施策の推進に御理解、御協力をいただき、改めまして厚くお礼を申し上げる。御案内のとおり、本日の審議会はあま市人権尊重のまちづくり条例の一部改正に向けての最終段階。この後は換気を施しながら進めるが、御理解と御協力をいただきたい。

3 会長あいさつ要旨

書面会議等を踏まえ、いろんな御意見をいただいた。最後の提言という形になったが、これも委員の皆さん、また事務局の皆さんのお力があってと思っており、本当に感謝している。来年は丑年、干支で言うと2番目だが、実際は牛が最初に歩を進めて神様の前に行き、門の近くに来たときに、ねずみが先に門の中に入ったから、子、丑、となったという逸話もある。来年は丑年にちなんで、牛歩で一歩一歩進むというような、そういう世の中になって欲しいと考えている。また私たちのこの一部改正条例が、市民の皆様に深く浸透するような状況になれば幸いと思っている。

4 議題

- (1) あま市人権尊重のまちづくり条例の一部を改正する条例の制定に向けた考え方について(提言)
- (2) その他

【あま市人権尊重のまちづくり条例の一部を改正する条例の制定に向けた考え方について(提言)】

(説明要旨)

- ○最終案を送付させていただき、変更すべき内容の御意見はなかったが、今後の取組に対し御意見を いただいた。市当局も人権施策の推進に努める。
- ○市長からの諮問に対し、審議会から答申をしていただく。その内容は別添の提言という形式。
- ○資料3「提言にあたって」については、第4回の審議会でいただいた御意見等を鑑み、取りまとめた。2ページから4ページまでは変更なし。5ページは参考資料として、(1)あま市人権施策推進審議会委員名簿の2点を追加した。

(主な意見等)

- ○市長からこういう諮問が出たということについていいタイミング。 1 0 年過ぎたから、新たに立て 直し、見直しということで大きな改正になっているから、それを見越しての諮問だった思う。
- ○前回 (平成27年度) の意識調査等の結果を見てみると大きな成果が出ており、大変評価できるが、 一方で人権は大切だよということを主張することのみに徹している傾向はないか。 差別は決してな くなってない。 時を得たすばらしい取組であるので、今回の提言そのものは大賛成。 今後積み重ね ていただくということを強く期待している。
- ○5回の審議会を経て、この提言の中身についても非常に、良い中身になってきたと評価している。 せっかく条例の一部改正をするわけだから、市民により一層定着するような広報、啓発活動等を、 重ねてお願いする。
- ○市民に浸透するような取組を行動計画の中で、立案し、進めてほしい。市民に浸透する手立てとして文書だけでなく、モニュメント等が市役所の門前にあると良い。様々な手立てを考えていただきたい。
- ○今年1年はコロナに振り回されたが、ポストコロナを真剣に考えていかないといけない。新聞等にもコロナが終わったら、今度は人間中心の考え方をしていかなくちゃいけないと書かれている。目の前の人間、身近な家族、地域を大切にするということ。そういう意味で、人権は大いに前面に出てくる課題だと思う。
- ○いかに市民に浸透するかっていうことで、各地区で市長が語られる場ある。そこで条例について紹介できないか。様々な事を伝えなければならないという行政上の立場から、難しいかもしれないが市長でなくても、人権推進課や、私どもでもそういう機会ということができないかと思っている。
- ○人権擁護委員が人権の花ということで、子供たちに対していろいろな学校でやられている。同様に すべてのあま市民に人権を育てましょうという行動を取れないか。少なからず、目では見る。頭の 脳裏にかすかに残っていく。残れば、何人かはそういう行動する。内外に宣言し、そして市民が誇 れるあま市になる状況を考えていくということ。
- ○差別を解消する方向に、活動を重点化して欲しい。子供たちには進めているが大人に向かってやらなきゃいけない。差別はいけないことだということを繰り返してPR、啓発していくことに力を入れて今後進めていただきたい。
- ○リモート等を使っての会議は能率的で効率はいいが、face to face。人間と人間が顔を合わせる

ことが基本にないと駄目だと思う。能率、効率だけでなくて、face to face の中で、人権を意識する、根底に据えてほしい。

【その他】

(説明要旨)

- ○市民意識調査について入力作業が終わり、設問毎のクロス集計、分野別集計に入っている。年齢、 性別の回答について、新たな回答欄は設けているので、若干数字がばらついてる。男女共同参画の 集計に入っているが、男女差の考え方が変わってきていると感じる。今後、集計等、進めていき、 年明け2月末には成果品ができるように作業しいく。
- ○案内となるが令和3年2月2日に市民人権講座を人権ふれあいセンターで開催する。新型コロナウ イルス感染防止策として、定員を50名とする。内容は同和問題について。事前申込制としている。

(委員からの意見なし)